

## 施工ワンポイントアドバイス

正しい使用法で、屋根材のクラック・割れを防ぐ!

# シングルカッターの 使用ポイント

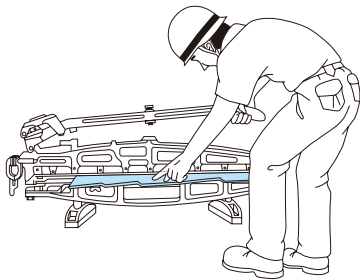
# シングルカッターでの作業にとりかかる前に

屋根材のクラックや割れの原因のひとつに、専用工具の誤った使い方があります。今回は屋根材の加工にかかせないシングルカッターの使用ポイントをご紹介します。



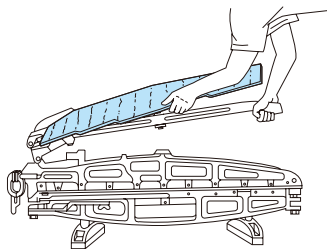
## 切断のポイント

2~4P



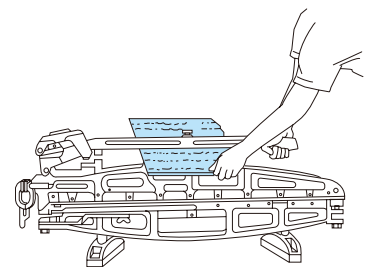
## 欠き込みのポイント

5P



## 孔あけのポイント

5P



### ⚠ 警告

ケガや事故防止のために、シングルカッターの使用時は以下のことを必ずお守りください。

- 損傷した部分がないか、作業時に確認してください。異常作動して事故やケガのおそれがあります。
- 刃物の間に指を入れることは危険です。取扱に十分注意してください。
- 刃物には手を触れないでください。
- 屋根上では、滑り落ちないように本体を固定してください。
- ハンドルを上げたままにしないでください。
- ハンドルを上げた際、上ポンチの上に手をおかないでください。
- 切断・加工は必ず1人で行ってください。
- 子供が触ると危険です。保管設置場所には十分気をつけてください。
- 使用後は必ず安全ピンを差し込んで、ハンドルが上がらないようにしてください。

### ⚠ 注意

- シングルカッターは、平形屋根ストレート専用の切断機です。他の材料及び用途には使用しないでください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。転落等によるけがのおそれがあります。
- ご使用前には必ず取扱説明書を読んでください。

ここもポイント!

正しい使い方をしていても、シングルカッターの性能そのものが劣化しては、屋根材のクラックや割れが起きやすくなります。性能を保つために、定期的な点検・整備も大切です。

### 関連ワンポイントアドバイス

> 平形屋根ストレート用シングルカッター点検・整備のポイント 



# 切断のポイント

① スタンドを2つとも横にし、シングルカッターを安定させます。



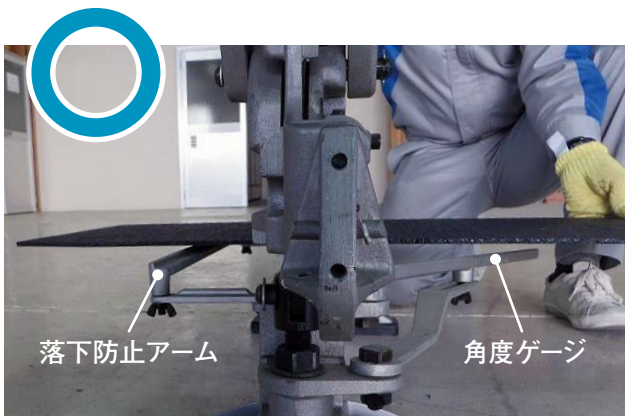
「欠き込み」「孔あけ」時も同様です。



② 切断クズが刃の両側に残っていないことを確認します。



③ 屋根材を下の刃に対して水平になるように置き、刃が垂直にあたるようにします。



落下防止アーム・角度ゲージを使用することで、屋根材を水平に置きやすくなります。





# 切断のポイント

④切断は、多少弾みをつけて一気にハンドルを下げます。

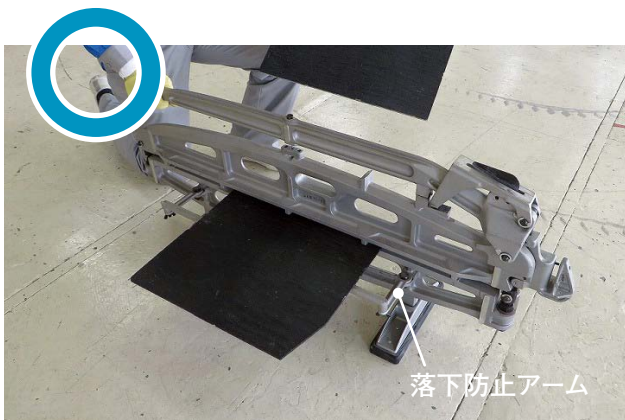


多少弾みをつけて一気にハンドルを下げます。



ハンドルの勢いが弱いとクラックや割れの原因に。

⑤切断された屋根材が落ちないように、落下防止アームを使用します。



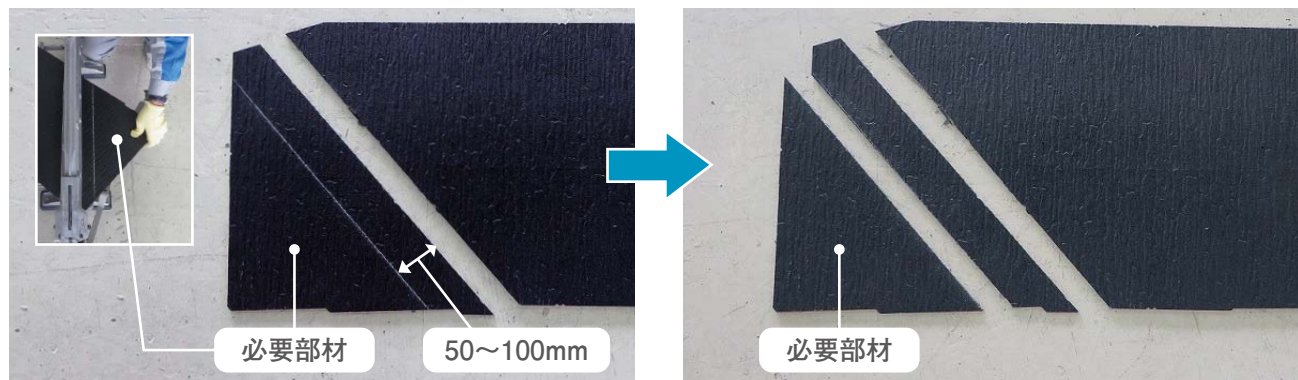
落下防止アームで、屋根材を支えます。



落下の衝撃で、屋根材が割れるかも…

# 切断のポイント

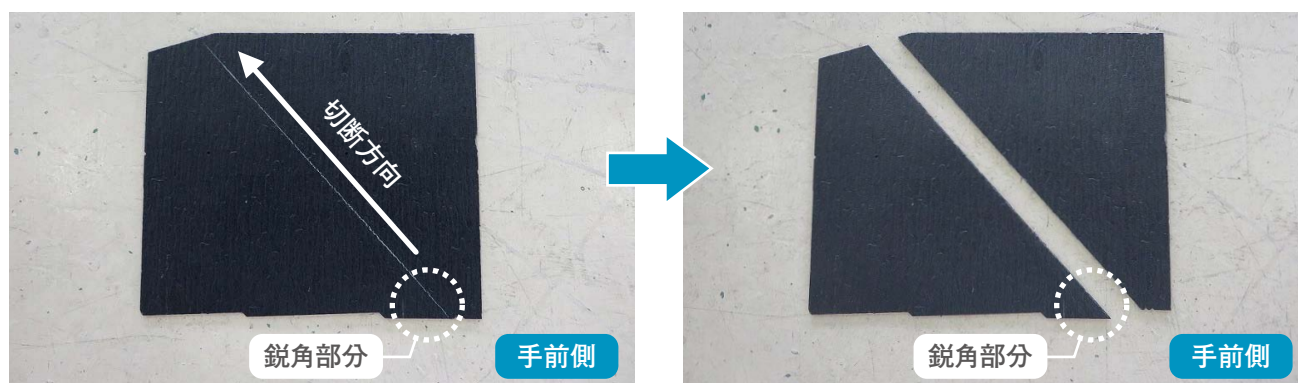
⑥ 谷部・隅棟部の切断時は必要部材を手で持ち、2度切り(荒切り・本切り)をします。



① 荒切り  
必要部材から50~100mm程、余裕をもたせて切断します。

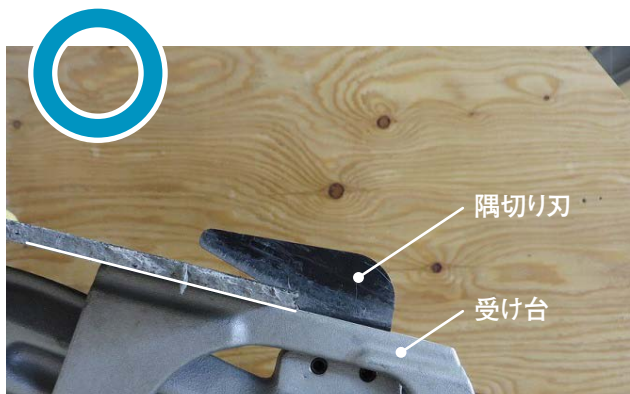
② 本切り  
必要な部材のみを残して切断します。

⑦ 必要部材を鋭角に加工する場合は、鋭角部分を手前側にして切断します。



## 欠き込みのポイント(隅切り刃の使用)

屋根材を隅切り刃の受け台と平行になるように置きます。  
また、屋根材を小刻みに動かしながら押し込むようにして切断します。



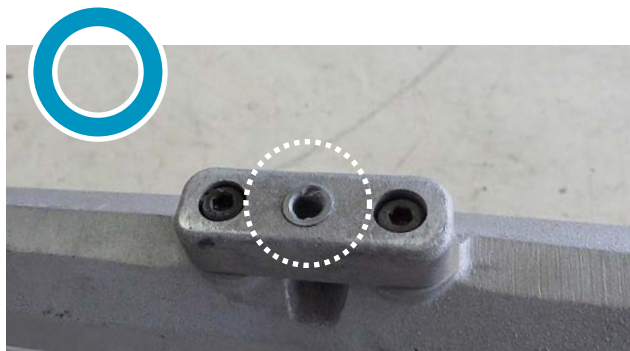
屋根材と隅切り刃の受け台が平行。



屋根材が浮いていると、クラックや割れの原因に。

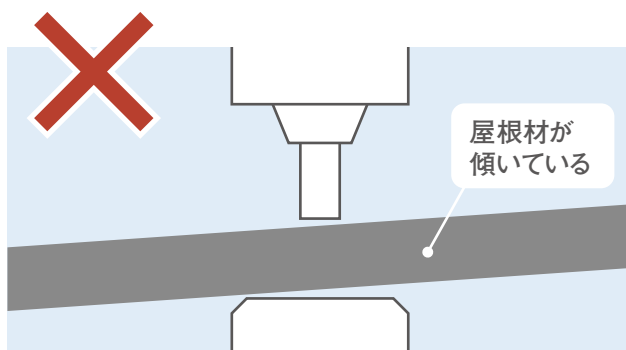
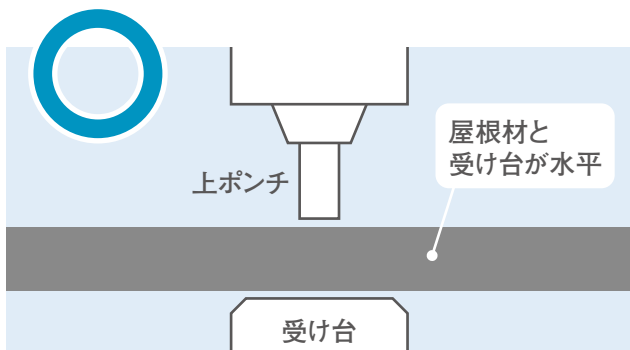
## 孔あけのポイント(上ポンチ・前ポンチの使用)

① 孔あけの際のカスが、ポンチの受け穴に詰まっていないことを確認します。



カスが詰まっていると、クラックや割れの原因に。

② 屋根材をポンチ受け台に水平になるように置き、ポンチが垂直にあたるようにします。



受け台に対して屋根材が傾いているとクラックや割れの原因に。